

60周年記念事業

みんなでつくる 日野の宝マップ

～四中地区～



日野に住むみんなから教えてもらった「日野の宝」。
あなたはどのくらい知っていましたか？
自分の住む地区を改めて見渡すと、
他にはない面白いものが転がっているかもしれません。

1～10については参加メンバーが
記事で紹介しています。
裏面を見てチェックしよう！

動画チームの
作品はこちら



【旭が丘小雑木林】
日本一の学校林。旭が丘小学校の子どもたちにとつての遊び場、自慢の場所なのだそう。



【跨線橋】
豊田駅から伸びる中央線を跨がる跨線橋。階段を上がって南側を見ると、豊田車両センターに向けて複雑に伸びる線路や、電車を洗う洗車機という珍しいものも見る事ができます。



【平山中込踏切】
木々が生い茂り、住宅街から急に雰囲気が変わる踏切。まるでなにかの映画のような…



【豊田電車区】
電車好きにはたまらないスポット。東洋一の電車区。

【地区トピックス】

四中地区は童謡「たきび」の作詞をした異聖歌が晩年を過ごした地です。詩碑のある旭が丘中央公園を中心に、自治会のお祭りや福祉施設の出張販売など、たきびのような温かい交流が行われています。

【旭が丘の自転車屋さん】
実は有名アニメ映画の冒頭に登場しているらしい!? 気になる人は調べてみてね。



【旭が丘小雑木林】
日本一の学校林。旭が丘小学校の子どもたちにとつての遊び場、自慢の場所なのだそう。



【跨線橋】
豊田駅から伸びる中央線を跨がる跨線橋。階段を上がって南側を見ると、豊田車両センターに向けて複雑に伸びる線路や、電車を洗う洗車機という珍しいものも見る事ができます。



【平山中込踏切】
木々が生い茂り、住宅街から急に雰囲気が変わる踏切。まるでなにかの映画のような…



【豊田電車区】
電車好きにはたまらないスポット。東洋一の電車区。

【地区トピックス】

四中地区は童謡「たきび」の作詞をした異聖歌が晩年を過ごした地です。詩碑のある旭が丘中央公園を中心に、自治会のお祭りや福祉施設の出張販売など、たきびのような温かい交流が行われています。

1 グリーンベルト



春には桜並木が有名な第四中学校の東側にあるグリーンベルト。立派な桜の木が立ち並び、車を運転しているとゆっくり見られないので誰かの運転で車窓から桜を鑑賞するのはなんとも言えない贅沢な時間。

通り沿いには幼稚園・保育園等もあり、卒業・進学・進級の気持ちの高ぶりに文字通り花をそえてくれ、子ども達の姿と桜は見ているこちらにも活力をもらうことができます。桜が散った後の新緑の桜並木も若葉の間からこぼれ落ちる太陽のキラキラとした光と木陰の陰影は何とも魅力的です。夏にはグリーンベルト脇に植えられているもう一つのピンク色、サルスベリの花が艶やかに咲き誇り、春とは違ったピンク色を楽しめるのもこの通りのオススメです。

(らんらん)

2 フリースペースたけのこ・西平山子どもゼロ円食堂



日野市のはじっこに位置する西平山は「ココ本当に東京なの?」と思うほど畑や竹林が多く残され、すぐそばを流れる浅川には多くの野鳥がやってきます。この地域の豊かな自然を活かして、NPO法人子どもへのまなざしが『子どもたちの居場所づくり』に取り組んでいます。二軒の空き屋を活用して、1歳~就学前の子どもたちがとことん外であそぶ森のようちえん『野外保育「まめのめ」』と、多様な学びを保障する『フリースペース「たけのこ」』。さらに『子どもゼロ円食堂』も年8回ほど、地域の子供たちに向けて開催しています。近くにお散歩の際には、懐かしいおばあちゃんの家のような古民家のをぞいて見てはいかがでしょうか?活動を応援して下さる方も大募集のようですよ。(ひろりん)

3 光の家 カナンカフェ



Kitchen & Cafe Canaan(以下カナンカフェ)は、社会福祉法人東京光の家「光の家就労ホーム」が運営するカフェレストラン。2023年で10周年を迎えました。コンセプトは「地域共生」。地域の障害者が働いている場でもあり、若者男女が集う地域住民の憩いの場です。カナンカフェでは、1000円程度のお手頃価格で食事を楽しめます。訪れた際ぜひ食べてもらいたいオススメメニューはスペシャルランチ。日替わりのランチとなっていて、旬の野菜を使ったものや、世界の味を楽しむことができます。専属の管理栄養士の方が日々献立を立てているようで、栄養面もしっかり考えられています。そんな優しさの詰まったカナンカフェの食事には、ドリンクバーが必ず付いてきます。このサービスは、ゆっくり時間を過ごせる居場所になればという店側の願いが込められています。ドリンクバーサービスや食事に加えて、明るく清涼感のある店内の雰囲気は、心を落ち着かせてくれます。光の家の利用者だけでなく、家族や友達、カップルといった様々な人が利用しており、顔見知り同士が声をかけ合える身近な憩いの空間となっているカナンカフェ。まだ行ったことのない人はぜひ足を運んでみてください。(みるみる)

4 八王子競馬場跡



1934年、小宮町栗ノ須と日野町日野新田(現在の八王子高倉町・日野市旭が丘二丁目、六丁目付近)にまたがる総面積8万坪の競馬場が建設されました。本格的近代様式競馬場で馬場は約2万坪、一周1600m、幅員30m。当時としては広いコースに木造3階建て150mにも及ぶメインスタンド、120馬収容できる厩舎と1500坪の施設を備えた競馬場でした。戦局の悪化と共に開催は減少し、1950年、大井競馬場の開場により競争は行われなくなりました。競馬開催終了後は競走馬の育成・調教を行なう八王子牧場として活用されていましたが、1965年に開設された小林牧場にその機能は移転され、現在跡地には、都立大学日野キャンパス等の学校や住宅地が広がっています。競馬場が大井に移転した後もかつての八王子競馬場を記念する「八王子記念」にその名を残していましたが、1984年の開催をもって終了しています。昔の競馬場を現在の地図に重ねてみると大きな施設だったことが分かります。語り継いでいきたい跡地です。(さくら肉まん)

5 富士塚



創立150年を迎えるコニカミノルタ東京サイト日野に「富士塚」があります。江戸中期、約300年前の貴重な史跡であり、教育委員会指定史跡物でもある「富士塚」は、サイト敷地の北側、研究所に囲まれた位置にあり、コニカミノルタの遺伝子や変化をずっと見続けてきました。「富士塚」の歴史は、富士浅間神社の神を祀り、江戸時代中期に富士講(富士山に対する信仰)として語られています。富士山に登り、参拝出来ない人の為に富士山に似た人工の山を江戸各地につくり、ふじ塚信仰が広がったようです。(江戸検地図に分布)コニカミノルタ東京サイト日野の「富士塚」もそう言い伝えられていますが、定かではありません。高さ5m、円周25mで今では樹木が生え、その姿も富士講とは言い難い風貌です。「富士塚」は謎も多く、「工事で触らうものなら、事故や災難に遭う」と先輩諸氏から、社内では伝え聞いているとの事。また、山を正面にみて右側斜面には、絶滅危惧種植物の「きんらん」が生息している貴重な「富士塚」でもあります。日野市内にはコニカミノルタの他、日野自動車の敷地内にある「上人塚」、「日野台一里塚」、富士電機の「まつり塚」もあり、市内企業が歴史的文化財を大切に守ってくれていることを申し添えておきます。(小西六の翁)

6 夢ふうせん



あさひがおか児童館のすぐ近くにある社会福祉法人夢ふうせん。手作りの焼きたてパンや、パウンドケーキ、クッキーなどの焼き菓子が人気です。看板商品はなんといっても「ひのめぐみ焼きカレーパン」このパンは、ニッポン全国ご当地おやつランキングにて準グランプリを受賞しています。日野産の樽トマトや柿などが入った、揚げずにオープンでこんがり焼き上げたヘルシーな一品です。ラスクもおいしいのでオススメです!地域のおまつりにも多数出展されているので、そこでも手にとることができます★地域ボランティアの方・あさひがおか児童館・日野市ボランティアセンター・NPO法人フードバンクTAMAの皆さんと一緒に子ども食堂「おすびキッチン」も開催されているそう。(YUKI)

7 旭が丘 地区センター



旭が丘中央公園の中にある、日野市で最も新しい地区センター。体操やダンス、お祭りの打ち合わせなど、市民が集う場です。予約制のお部屋だけではなく、自由に使えるフリースペースやテラスもあります。光の家の皆さんのアート作品も飾られています。外の公園で遊んだ後にひとやすみしたり、テラスでのんびりお茶するのもいいかもしれません。毎月第二・第四土曜日には、移動図書館ひまわり号がやってきます!本の貸出はもちろん、地域の方(絵本の公園)による絵本の読み聞かせもあります。「たきびのようなあたたかいつながり」を育む場所になってほしいという、地域の方の思いと願いが詰まった空間です。(おぎ一)

8 旭が丘中央公園



四中地区で最も賑やかな公園といえ、この旭が丘中央公園。広くてきれいで遊びやすいのはもちろんですが、旭が丘地区センターやテニスコートなども併設されていて、いつもたくさんの方が賑わっています。春はたくさんの桜も魅力的で、近くに住む人々は毎年お花見に行くのを楽しみにしています。また、旭が丘地区は童謡「たきび」を作った巽聖歌が晩年を過ごした土地とも知られており、公園内には「たきび」の詩碑が設置されています。巽聖歌つながりで、日野市の姉妹都市でもある岩手県紫波町との交流イベントや、地元の自治会さんや商店連合会さんによるお祭りも開催されており、地域活動の中心となっている公園です。(よしみん)

9 多摩平第七公園



豊田駅北口駅前の通りを本隣に入ったところにある多摩平第七公園。ブランコや鉄棒、砂場があります。広い空間があるので、鬼ごっこなど思いっきり体を動かして遊ぶのもよさそう★ベンチで休憩する大人の方も。普段は静かな公園ですが、この広い空間を活かして、地域の自治会さんや地元の豊田北口商店連合会による楽しいイベントの会場になることも。夏には盆踊り、秋にはオクトーバーフェスタ、冬には新春の集いなど、たくさんの方が賑わっています。(タケシン)

10 ひの社会教育センター



子ども、大人、シニア、あらゆる人の「学びたい」「やってみたい」を応援するひの社会教育センター。年間を通してスポーツ・アート・音楽・語学・アウトドアなど、様々な分野の講座が開催されています。他にも、フリーマーケットや手づくり市など、たくさんの企画を日野市内で実施しています。ひの社会教育センターは、楽しいこと・好きなことに出会える場であり、自分のスキルや経験を地域に伝えることのできる場でもあります。同じことが好きな仲間にもきっと出会えます。まずは一度見学(てみては)いかがでしょうか?(さくらんぼ)